

真田庵



真田庵は、正式には善名称院と呼ばれ、県の史跡に指定されています。

(九度山町パンフレットより)



慈尊院 多宝塔

慈尊院は、弘仁七年(816)、弘法大師が高野山開創に際し、高野山参詣の要所に当たるこの地に、表玄関として伽藍を草創しました。

大師の御母公がこの地で没したため、母公廟が造られ、それ以来女人結縁の寺として「女人高野」と称され親しまれています。

(九度山町パンフレットより)

